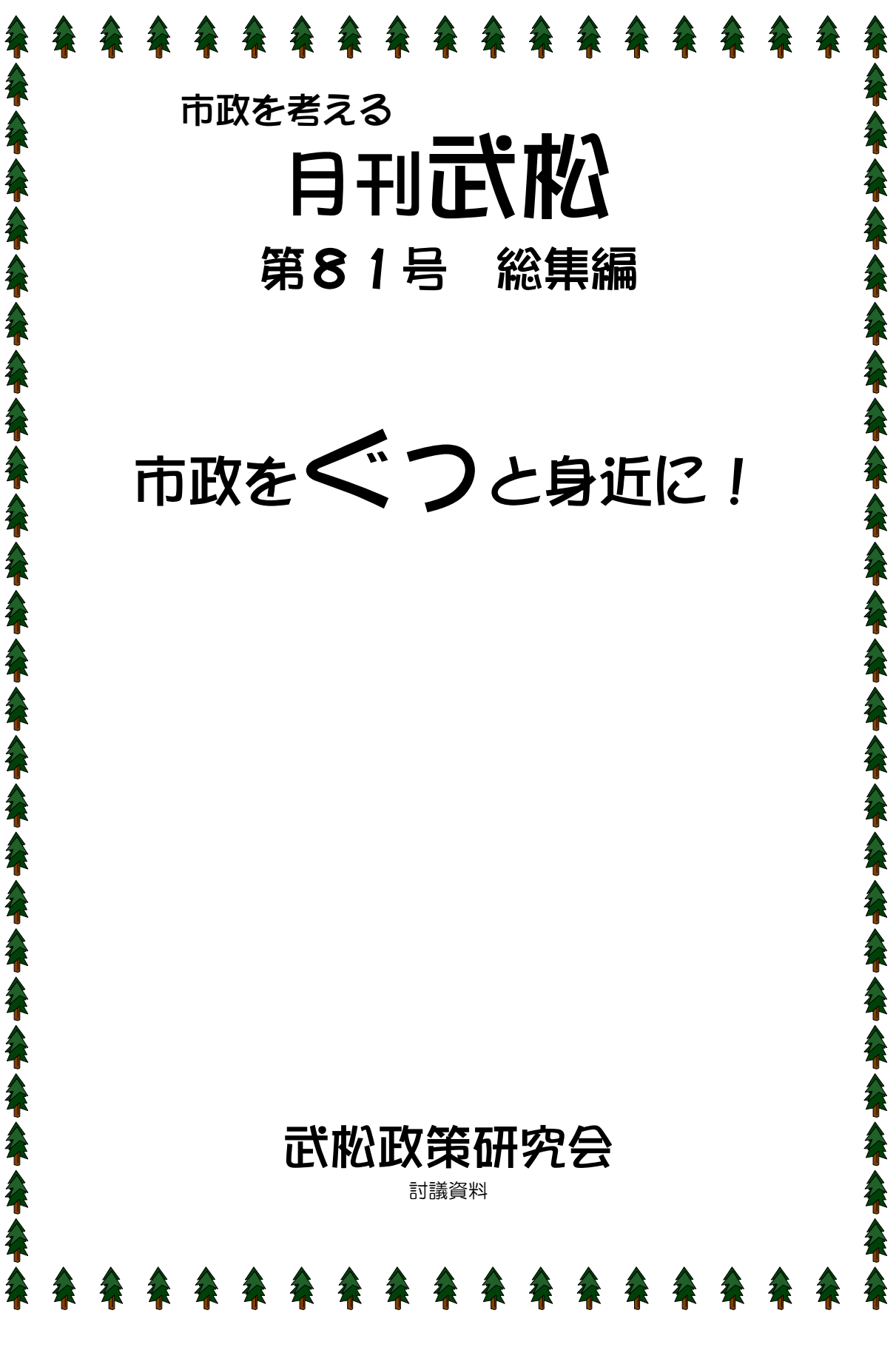




市政を考える

月刊武松

第81号 総集編

市政をぐつと身近に！

武松政策研究会

討議資料

市政をぐっと身近に！

私は、8年間、「市政をぐっと身近に！」をモットーに月刊武松の発行と本会議での一般質問など積極的に広報・議会活動を行ってきました。

これは、まず皆様に行政や議会に興味を持ってもらうこと、情報を共有することが一番大切だと考えたからです。そして、それが行政や議会のチェックやお互いの信頼関係を築くことにつながると考えたからです。

これからも皆様と情報を共有し、「しがらみの無い、確かな目」で正しい政治判断をしていきたいと思えます。

■月刊武松の発行

駅頭で8年間、朝6時半から9時まで、雨の日も風の日も配布しました。

第1・第2月曜：小田原駅東口 第1火曜：小田原駅西口

第1水曜：鴨宮駅南口 第1木曜：国府津駅 第1金曜：栢山駅

バイクで夏も冬も、市内各所を自分で(10000部)、ボランティア(2000部)配布しています。駅頭とバイクで月12000部、延べ70万部発行配布しました。

■ホームページ等の開設

2000年1月からホームページを立上げました。毎日更新の日刊武松、月刊武松のバックナンバーや勉強会の案内、一般質問等を掲載しています。またeメールを頂いた方には、毎月月刊武松をメール送付しています。

URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

i-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.htm/>

■月例勉強会の開催

まちづくり、教育や行政の仕組みを中心に33回の勉強会を開催。

■本会議で20回質問

6、9、12月の定例会では、基本的に議員であれば誰でも市長に対し一般質問できます。19回一般質問と1回代表質問をしました。ホームページで、質問と答弁の会議録も掲載しています。

小田原市議会議員の武松忠です。
私は、今41歳、小学生から中学生まで3人の子供の父親です。会社員から転身して市議会議員としてがんばっています。

しがらみの無い、確かな目で正しい政治判断をしていきます。



- 第44号 健康増進法が施行！、新会派「駿世会」、3065票で当選！
- 第45号 大気中のダストが減る！？、窓口コーナーの充実を！
- 第46号 スパウザ購入議案提出！？、2期目はどう？
- 第47号 議員報酬の見直し始まる！？、一般質問しました
- 第48号 市内企業の統合進む！？、食洗機でリストラ
- 第49号 東海地震注意情報！？、PETのラベル
- 第50号 小田原駅西口広場！？、2003年頭所感
- 第51号 小田原駅東口広場！？、HPで会議録検索！
- 第52号 小田原駅ビル計画発表！？、食洗器と冷蔵庫
- 第53号 平成16年度予算！？、16年度主な事業！
- 第54号 増え続ける扶助費！？、経済厚生常任委員長！
- 第55号 人口減少時代突入！？、この百年で最高の潮位
- 第56号 小田原競輪の現状！？、サッカーアジアカップ2004
- 第57号 国民健康保険の現状！？、元に戻る勇氣（1）
- 第58号 市立病院の現状！？、元に戻る勇氣（2）
- 第59号 市税の現状！？、携帯から小児科予約
- 第60号 小田原駅横に100m超ビル！？、2005年頭所感
- 第61号 近所付き合いが生命を左右！？、駅横に大学開設
- 第62号 平成17年度予算！、17年度の主な事業
- 第63号 鴨宮駅南口に昇降施設！、月曜開館増える！
- 第64号 （仮）城下町ホールの経緯！？、再開発住民説明会！
- 第65号 教科書採択をめぐる動き！？、歴史教育について
- 第66号 市街化区域全域に高さ規制！？、お城通り地区①
- 第67号 補助金等の財源は市民の税金！？、配布3ヶ月休み
- 第68号 新設進入路はバス専用！？、報徳サミット
- 第69号 建築高さ1/4延床面積2/5、城下町ホール設計公募！
- 第70号 再開発事業収支提示！、不審者情報配信希望！
- 第71号 平成18年度予算案！？、18年度主な事業！、お城3兄弟！
- 第72号 長期借入金の状況！？、不交付団体が厳しい
- 第73号 ついに世帯数減！？、安心・安全メール
- 第74号 （仮称）城下町ホール基本設計案提示！？、後席モットーを！
- 第75号 年10億円の伸び！国民健康保険特別会計！
- 第76号 施設管理等委託料！？、ガソリン価格高騰！
- 第77号 特別会計と繰入金！？、議員一人当たり人口！
- 第78号 2市8町で合併検討！？、合併の必要性？
- 第79号 救急出場が減少！？、議員定数28名に！
- 第80号 医療費助成9.7億円！？、私の街は大丈夫？

ご連絡いただければ送付致します。

合併を慎重に検討！

2010年3月までに合併の方向性を明らかに

表1 2市8町の人口・面積・議員・職員・広域行政

	人口 (万人)	65歳 以上 (万人)	高齢 化率 (%)	面積 (km ²)	議員 数 (人)	職員 数 (人)	ごみ 処理	し尿 処理	消防	下水道	火葬 場	介護 認定 審査	障害 認定 審査
小田原市	19.72	3.86	19.6	114.09	30	1909							
箱根町	1.38	0.35	25.2	92.82	16	430							
真鶴町	0.90	0.23	25.2	7.02	12	115	衛生 組合		事務 委託	事務 委託	事務 委託		
湯河原町	2.80	0.71	25.2	40.99	16	350							
南足柄市	4.43	0.95	21.4	76.93	16	417		衛生 組合	消防 組合				障害 区分 認定 審査 会
大井町	1.78	0.26	14.7	14.41	18	154	清掃 組合					介護 認定 審査 会	
松田町	1.26	0.27	21.1	37.75	14	123							
中井町	1.01	0.18	18.3	20.02	14	116							
山北町	1.29	0.31	24.0	224.70	14	160	清掃 組合						
開成町	1.51	0.26	17.2	6.56	14	118							
合計	36.06	7.37	20.4	635.29	164	3892							

※議員数は次期改選時の定数 職員数は、全会計の人数（病院、水道局も含む）

■2009年度末までに合併の方向性を明らかに

県西地域合併検討会が設置されました。

県西地域2市8町の枠組みで合併した場合を想定し、合併に伴う諸環境の整理や様々な分野での課題の調整を行い、合併した場合の新たなまちづくりの可能性、将来の都市像を検討し、これらの情報を住民に提供しながら、2010年3月末までに合併の方向性を示すことになりました。

■合併すると仮定すると……

人口は、19.7万人の小田原市以外は、4.5万人以下の市町となっており、全体で約36万人となります。

高齢化率は、足柄下郡が全て25%を超えていますが、上郡の開成、大井、中井町は小田原市

に比べても低い割合となっており、全体では、**20.4%**になります。

面積は、山北町の224.7 km²を筆頭に全体で635.3 km²となり、**横浜市の約1.5倍**になります。

議員数は、次期改選時の定数で162名ですが、合併により、**上限が46名**となります。

職員数は、箱根町が430名と人口が3倍の南足柄市よりも多くなっていますが、分散した地域のため消防職員を多く配置しているためです。2市8町全体で**3892名**となります。

広域行政は、ごみ処理、し尿処理、消防など組合設置や事務委託など表1の組み合わせで行っていますが、合併することにより統廃合できま

人件費⇒福祉・まちづくり

痛みなく職員数を削減するには早期の合併が有効。

表2 2市8町と類似規模の中核市の状況

	人口 (万人)	面積 (km ²)	議員 数 (人)	職員 数 (人)	歳出総額 (億円)	議会 費 (億円)	総務費 (億円)	民生費 (億円)	土木費 (億円)
2市8町	36.06	635.29	162	3892	1177.94	15.11	197.40	271.00	197.25
旭川市	35.88	747.60	36	3167	1518.81	6.30	110.41	480.23	284.27
郡山市	33.50	757.06	42	2174	997.75	6.78	135.92	218.08	188.87
長野市	37.96	738.51	42	2851	1443.24	8.64	143.32	289.01	264.13

総務費:職員の人件費、全般的な管理事務、戸籍、徴税、選挙財務事務等

民生費:社会・老人・障害者・児童・母子福祉、医療費助成、生活保護、国保・老保・介保への繰出金等

土木費:道路、公園の整備や市営住宅の建設、市街地再開発等

■人件費が減り、福祉やまちづくりが増える！

表2に2市8町と類似規模の中核市の状況を示します。これより2市8町は、

- ①議員数が約120人多い。
- ②職員数が、700から1700人多い。
- ③民生費・土木費が少ない。

概ね類似規模の中核市では、議会費や総務費が少ない分、民生費や土木費に振り分けられています。

■公務員はリストラできない。

市民の間に合併議論が巻き起こっている訳ではありません。また、私は現在の小田原市の規模であれば、将来的にも効率的に行政運営ができと考えています。

しかし、近隣自治体の財政が厳しくなり、例えば10年後に小田原市と合併せざるを得なくなると、その間、1市8町で新採用した職員を抱え込まなければなりません。

地方自治体の職員は、基本的に身分保障されているため減らすことができませんから、団塊世代の大量退職が進むこの時期に、如何に優秀な人材を少数採用できるかに、この地域の将来がかかっていると思います。

合併し、首長、三役や議員の数が減ったとしても、150人程度の減にしかありません。2市8町の規模と同程度の中核市と比較して、700～1700人も職員数が多いので、もう先延ばしにはできません。

将来の自治体の人件費を痛みなく減らすには、今行動しなければならぬと考えています。

■下水道・公共施設をどうするのか？

今後の合併があるとして、一時的には**条例の整理、行政の電子システムの統合**などに多くの労力と資金を必要とします。

また、既存のホール、公民館、体育館、グラウンド、プールなどの**公共施設をどう統合するのか？**どう住民の理解を得るのか？は、非常に難しい問題です。

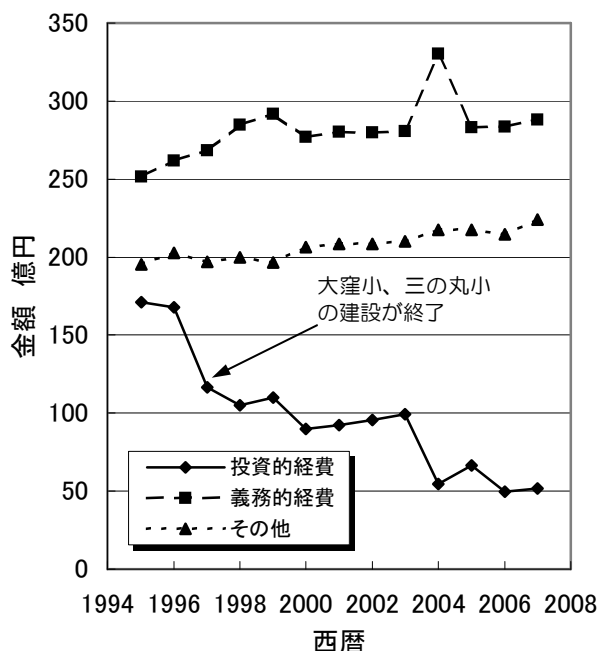
都市計画、中でも**下水道**については、もし合併し、そのまま拡大するとなれば今後莫大な借金を抱え込むことになります。

人口減少時代を向かえ、今後世帯数も減る方向になりますから、投資効率の悪い地域は、公共下水道で集中処理する方式ではなく、合併処理浄化槽の管理を行政がチェックできる方式等も検討していかなければなりません。

既存事業・補助金・助成金の見直しを！

見直さなければ福祉やまちづくりの資金ができない。

図1 一般会計歳出(性質別当初予算)



■扶助費の増加

・義務的経費のうち、扶助費は、国県で規定されているものがほとんどで、基本的に市は doing anything also cannot. **扶助費の増加**は景気動向や高齢化など**支給対象者の増加**が原因です。

・投資的経費は、義務的経費増加に食われた形で減少しており、**市税等の歳入増や既存事業を見直さなければ、原資を投資的経費にまわすことができません。**

■用語説明

投資的経費

学校教育・社会教育施設整備や道路・公園河川整備等にかかる経費

義務的経費

人件費＋扶助費＋公債費

人件費：給料、職員手当、共済費等

扶助費：生活保護費、保育所運営費、児童手当、医療費助成等で金額の95%は、国、県の規定によるもの。

公債費：借金の返済

その他

物件費＋繰出金＋補助費＋貸付金＋維持修繕費等

物件費：委託料、使用料、賃金、旅費、需用費(消耗品、燃料、光熱水費等)

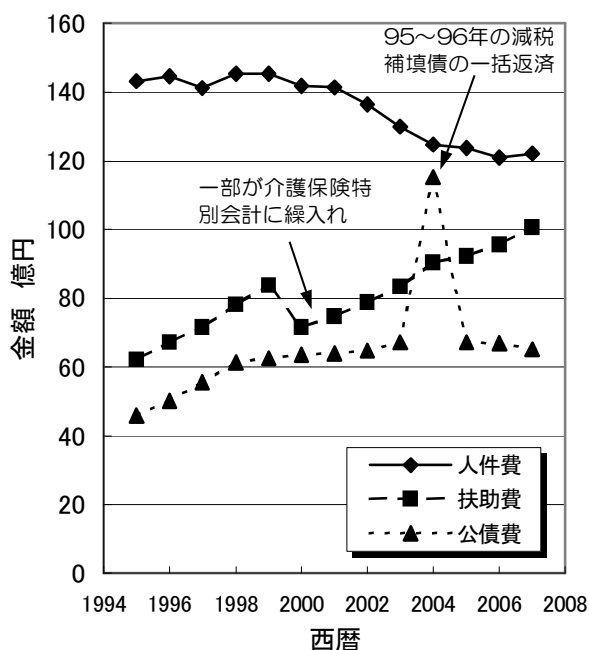
■既存事業の見直し

今後、扶助費については、増えることはあっても減ることはありません。そして、それを市が勝手に減らすことができません。

ですから、財政が厳しい状態で福祉、まちづくり、**道路や校舎等の維持修繕を一定水準に保つためには、既存事業や継続事業、各団体や市民団体への補助金や助成金までも、全て見直し、その原資を確保しなければなりません。**

みんなで既存事業・補助金・助成金をチェックしていきましょう。

図2 一般会計歳出 義務的経費内訳



本当に大切なのは、情報の共有

- ・これからも月刊武松を発行します。
- ・行政情報を共有し、問題点を明確にします。

多くの皆さんに市政に関心を持ってもらうには、情報を発信しつづけなければなりません。様々な情報をわかりやすく伝え、皆さんと情報を共有するために、月刊武松の発行を継続していきます。

ずっと安心して住める街に！

- ・自治体合併を慎重に検討します。
- ・助成金や補助金など慎重に見直します。

小田原を将来に渡って安心して住める街にするには、自治体合併について慎重かつ早期に検討しなければなりません。団塊世代の大量退職が進むこの時期に、如何に優秀な人材を少数採用できるかに、この地域の将来がかかっていると思います。

また各団体や市民団体への補助金や助成金までも、全て慎重に見直す必要があります。

税金を無駄使いしない！

- ・民間委託を積極的に進めます。
- ・後年度負担を考慮し、大規模投資は低金利のうちに実施できるよう努めます。

行政がやらなければならないことを慎重に検討し、民間委託できることは積極的に民間委託することが大切です。

また、大規模投資は、現在の低金利のうちに実施することにより将来の負担を軽減できます。いずれ行わなければならない事業は前倒ししてでも早期に事業化すべきです。

我々市民も真剣に、自分達の将来や子供達のことを考え、行政をチェックすることが大切です。

私の街は大丈夫？

もっと市政に関心を！ 税金の使われ方、防災、環境、教育・・・

“月刊武松” 読者募集中！

お名前、ご住所をお知らせ頂いた方には、年1回**月刊武松**を送付させていただきます。

メールアドレス（携帯メールは除く）をお知らせ頂いた方には、毎月eメールで**月刊武松**を送付させていただきます。

皆様と共によりよい市政を考えて
いきたいと思えます。
皆様の声をお聞かせ下さい。

武松政策研究会

代表 市議会議員 武松 忠



←i-mode HP

e-mail→



武松 忠のプロフィール

- ・1965/8/9 市内国府津生まれ
- ・小田原市立国府津小学校、国府津中学校卒
- ・神奈川県立西湘高等学校卒
- ・東京職業訓練短期大学校電気科卒
（現 職業能力開発総合大学校東京校）
- ・1986/4～1999/6 日本真空技術株式会社勤務
（現（株）アルバック）
ロボット・半導体製造装置等の開発に従事
- ・日本赤ちゃん学会正会員
- ・配食ボランティア虹の会事務局
- ・家族 5人（妻、1男2女）

主な役職

- ・経済厚生常任委員長（2004年度）
- ・小田原市国民健康保険運営協議会副会長
- ・小田原警察署少年補導員
- ・小田原市立酒匂小学校PTA会長